

記憶と記録からみる 女性たちと30年

—装いにうつるイスラームとジェンダー—

過去数十年のあいだ、イスラーム圏と呼ばれる地域は激動のなかにあります。宗教の政治化や過激派の台頭に加えて、多くの地域で共通してみられたのがイスラームの意識化や顕在化による日常生活の変化でした。これは女性やジェンダーにとって何を意味し、またそこに何をもたらしたのか。本シンポジウムでは「装い」に注目しつつこの問いを考えていきます。

プログラム:

日時:2018年7月8日(日)13:00-17:30(開場12:30)

13:00-13:10

場所:東京大学 情報学環 福武ホール

はじめの言葉、主旨説明

※ 赤門横の会場となります。

13:10-13:30

第一部『イスラームにおける女性とジェンダー』読書会

第3部「新たな言説」

第11章 未来に向けての戦い、結論

レジュメ担当:木下実紀(大阪大学)

13:30-15:00

第二部 映像にみる30年「ヴェールをまとい始めた女性たち」

『Egypt, A Veiled Revolution』上映(1982年、26分)

コメント(各10分)

岡真理(京都大学)

後藤絵美(東京大学)



15:20-17:20

第三部 パネルディスカッション「記憶と記録からみる30年」

モデレーター 岡真理

パネラー (各10分)

藤元優子(大阪大学) イラン

宇野陽子(東京大学) トルコ

野中 葉(慶応義塾大学) インドネシア

帯谷知可(京都大学) ウズベキスタン

山本 薫(東京外国語大学) シリア

※ 参加無料・どなたでもご参加いただけます。

準備の都合上、事前に参加希望のご連絡をお願いします。

宛先: bahithat.women100@gmail.com



17:20-17:30

おわりの言葉

長沢栄治(東京大学)

主催:

科研基盤A イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究(代表:長沢栄治)
公募研究会:「砂漠の探究者」を探して—女性たちと百年(代表:岡真理、事務局:後藤絵美)

新学術領域研究 グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて—関係性中心の融合型
人文社会科学の確立(代表:酒井啓子) B01班「規範とアイデンティティ」

共催:

中東映画研究会

京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS共同利用共同研究・個別ユニット
「社会主義を経たイスラーム地域のジェンダー・家族・モダニティ」